

科目名	指揮法Ⅰ			担当教員	木 許 隆
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2MCD101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	演奏家				
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	演奏家としての経験を活かし、教育現場における指揮法について実習する。				
授業の概要	音楽科の教員、また指導者として大切な指揮法について学ぶ。そして、指揮の起こり、指揮者の役割を十分理解した上で、基本技術を身に付ける。また、演奏する楽曲について学び、それにふさわしい指揮の技術を選択する力を養う。				

授業計画	
第1回	指揮法概論 指揮の起こり、歴史、機能などを学ぶ。
第2回	指揮者の役割について学び、指揮法を分類する。
第3回	バトンテクニック① 指揮の基本動作と図形について学ぶ。
第4回	バトンテクニック② 打法について学ぶ。
第5回	バトンテクニック③ しゃくいについて学ぶ。
第6回	バトンテクニック④ 平均運動について学ぶ。
第7回	バトンテクニック⑤ 楽曲の停止、再開、終始について学ぶ。
第8回	間接運動のまとめ
第9回	バトンテクニック⑥ 瞬間運動について学ぶ。
第10回	バトンテクニック⑦ 先入法について学ぶ。
第11回	バトンテクニック⑧ はね上げ、引っかけについて学ぶ。
第12回	瞬間運動のまとめ
第13回	バトンテクニック⑨ テンポの変化、ダイナミクスの変化について学ぶ。
第14回	バトンテクニック⑩ フレージング、左手の指示について学ぶ。
第15回	総合的な指揮法のテクニックについてまとめる

事前学修	0.5時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにすること。
事後学修	0.5時間	各授業内容を楽譜内にまとめ、理解を深めること。
フィードバックの方法	レポート課題、対面授業内の指導によって、授業内容の習熟度、到達度をフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	毎授業の発表、第15回授業の実技を評価する。受講態度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

指揮法教程	斎藤秀雄	音楽之友社	9784276141100140000	無
参考資料				

科目名	指揮法Ⅱ			担当教員	木許 隆	
単位	1単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2MCD402
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験	演奏家					
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	演奏家としての経験を活かし、教育現場における指揮法について実習する。					
授業の概要	「指揮法Ⅰ」において習得した基本技術を使用して、「ソナチネアルバム」の楽曲を指揮する。指揮者として楽譜を正確に読み、そこに書かれている音楽を知ることはもちろん、表現者からその音楽をいかに引き出すか、その方法を考える。					

授業計画	
第1回	指揮法概論 指揮法の基本技術を復習する。VARIATION UBER VIEN'QUA DORINA BELLA / C.Weber Op.7 を用いて3拍子の指揮法について学ぶ。
第2回	VARIATION UBER VIEN'QUA DORINA BELLA / C.Weber Op.7 を用いて3拍子の応用とその表現方法について学ぶ。
第3回	THEMA AUS DEM IMPROMPTU / F.Shubert Op.142,No.3 を用いて4拍子の指揮法ついて学ぶ。
第4回	THEMA AUS DEM IMPROMPTU / F.Shubert Op.142,No.3 を用いて4拍子の応用とその表現方法について学ぶ。
第5回	ANDANTE GRAZIOSO / J.Haydn を用いて2拍子の指揮法および先入法の基礎について学ぶ。
第6回	ANDANTE GRAZIOSO / J.Haydn を用いて2拍子および先入法の応用とその表現方法について学ぶ。
第7回	ALLEGRO / J.Haydn を用いて2拍子の指揮法およびアーフタクトの指示について学ぶ。
第8回	ALLEGRO / J.Haydn を用いて2拍子の応用とその表現方法について学ぶ。
第9回	AUS DER ERSTEN SYMPHONIE / L.v.Beethoven を用いてスコアリーディングの基礎を学ぶ。
第10回	AUS DER ERSTEN SYMPHONIE / L.v.Beethoven を用いて総合的な指揮法を学ぶ。
第11回	SONATINE Op.20,No.3 2mov. を用いて6拍子の指揮法について学ぶ。
第12回	SONATINE Op.20,No.3 2mov. を用いて6拍子の応用とその表現方法について学ぶ。
第13回	An der schonen blauen Donau / J.Strauss を用いてワルツの指揮法ついて学ぶ。
第14回	An der schonen blauen Donau / J.Strauss を用いて総合的な指揮法を学ぶ。
第15回	総合的な指揮法とその表現をまとめる。

事前学修	0.5時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにすること。
事後学修	0.5時間	各授業内容を楽譜内まとめ、理解を深めること。
フィードバックの方法	レポート課題、対面授業内の指導によって、授業内容の習熟度、到達度をフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	毎授業の発表、第15回授業の実技を評価する。受講態度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

指揮法教程	斎藤秀雄	音楽之友社	9784276141100140000	無
参考資料				